

6月9日(金)午前9時30分 CRT スタジオで収録

ノートの作り方、活用の仕方を考えよう！

一つくったノートは、声を出して読み、スミからスミまで覚えようー

開倫塾

塾長 林明夫

1. (1)①「効果の上がる学習方法」とは何か

②学習を「理解」「定着」「応用」の3つの段階に分ける

③その具体的な方法を考えることをおすすめします

(2)「学習の3つの段階」とは、

①「理解(うんなるほど)」の段階

②「定着(しっかり身に着ける)」の段階

③「応用(テストでよい点を取り、社会で役立てる)」の段階

この3つの「段階」に分け、
各々、具体的な方法を考え
ましょう

(3)「理解」ができる場面とは

①「予習」

②「授業中」

③「復習」

④「定着」

⑤「応用」

などです



○そこで、今日の開倫塾の時間は、各々の場面ごとの「ノート」の作り方、「ノート」の活用の仕方考えます

○ノート活用のポイントは、「つくったノートは、何回も声を出して読み、スミからスミまで覚えること」です

2. 「ノート」は「予習」をするときからつくりましょう

(1)教科書を予習しながら、「要点」をノートにまとめる

(2)計算や問題は、その「計算」や「問題」を書き写し、その解き方を書き記す

○解けない計算や問題はスペースを空けておきましょう

(3)教科書や教材を予習していて、よくわからない語句(ことば)があったら、「気持ちが悪い」と考え、「辞書」や「インターネット」でその意味を調べ、調べた内容をノートに書き写す。

○教科別に「意味調べノート」をつくることをおすすめします



3. 「授業中」「ノート」を、どんどん取りましょう

(1)先生の授業で、大切なことは「メモ」「ノート」し続ける

(2)先生が授業中板書したことは、そのまま「書き写す」

(3)授業中に、授業内容の大切なことをメモすること、板書の内容を書き写すことは大切です



＜「仕事はメモで身に着ける」＞

(1) 社会に出ると、仕事場や様々なミーティングで、大切なことをメモし続けることが求められます

○メモに残さないと、覚えきれません、また、約束を守ることができないからです

(2) 学校で授業中、大切なことを「ノート」にとるのは、「社会に出て、大切なことをメモする」よい練習になります

○大切なことをメモすることは、高い言語能力です。

すぐにできるようにならないので、学校の授業中、ノートをとることで練習しましょう !!



4. 「復習」のときには、「ノート整理」をしましょう

(1) 先生の授業を思い出し、「ノートを完成」させる

(2) 「時間」や「根性」がある人は、授業後、「まとめノート」をつくることをおすすめします

(3) 先生の授業ごとに「まとめノート」を作り、それを中心に勉強をすることがおすすめです

5. 「まとめノート」の作り方

(1) 「ノートの左ページ」を使うこと

(2) 「ノートの右ページ」は白紙にしておくこと

(3) そして、後で勉強したことを、右ページにどんどん書き加える

○書ききれなかったら、別の用紙に書き加え、「ノリ」では

「大判のポストイット」は便利です



6. 受験生は、教科別の「間違い問題ノート」をつくりましょう

(1) 問題を解いていて、「間違えた問題」をすべて書き写す

(2) 「その解き方」も書き写す。解答、解説の全文を書き写す

(3) 試験前は、「間違いノート」を用いて、「間違えた問題」のみ、できるようになるまで解き続ける

7. ノートを保存し、一生かけて学び続けましょう

(1) 試験直前は「まとめノート」と「間違いノート」を中心に勉強し直す

○「教科書」といっしょに「まとめノート」「間違いノート」をスミスラスミまで全部覚える。100点満点が取れます

(2) 折角つくった「まとめノート」は、教科書や教材・辞書・年表などと共にすべて保存しよう

(3) 生涯にわたり、どんどん書き加え、一生繰り返し学び直そう

(4) ノートは大切に。一生の宝物にしましょう



＜ノートは音読を＞

つくったノートは、何回も声を出して読み、スミからスミまで覚えよう